

第2次福岡市立高等学校活性化検討委員会（第2次会議）
第2回会議

日時：平成22年1月21日（木）18:00～
場所：福岡市役所11階教育委員会議室

1 開会

2 議題

(1) 今後の会議日程等について

① 事務局説明

(2) 福翔高校の活性化について

① 事務局説明

② 質疑、意見交換

視点1 コース制について

視点2 部活動について

視点3 特色ある取組みについて

(3) 博多工業の活性化について

① 事務局説明

② 質疑、意見交換

視点1 類・コース制について

視点2 部活動について

視点3 特色ある取組みについて

3 その他

4 閉会

* 今後の予定

第3回会議（2月を予定）、第4回会議（3月を予定）

福岡女子高校の活性化について

福岡西陵高校の活性化について

第5回会議（4月を予定）、第6回会議（5月を予定）

福岡市立高校全体の活性化について

福翔高校の活性化の論点について

福翔高校では、平成12年に総合学科へ学科改編後、平成18年度から「平成の福翔改革セカンドステージ」を開始し、一定の成果が表れだした。この成果を更に確立するために、今年度、第3次福翔改革案の作成を開始し、改革の方向性を打ち出した。

このような中で、市民から必要とされる魅力ある福翔高校を目指すためには、どのような方策をとるべきか。

○改革の方向性

- ①進学に特化した高校への転換・・・当面はコース制の改良
- ②部活動の更なる活性化
- ③文武一道生徒の育成

○検討の視点

1. 総合学科において、中学生や保護者や社会のニーズに即した魅力ある改革をするために、より進学に特化したコース制への改善を検討しているが、コース制の在り方についてご意見を伺いたい。

- 理由**
- ①福翔高校において進学者が増加しており、今後も増加が予想される。
 - ②中学校等から福翔改革セカンドステージでの進学実績が評価されつつある。
 - ③就職が「売り」にできなくなってきた現状がある。

例：中学生や保護者・社会のニーズに即したコース制の考え方
進学に特化した場合に考えられる課題

2. 文武両道を謳っている学校は多いが、一人の生徒が進学も部活動も両立させることは、大変難しい。しかしながら、そう望む生徒や保護者は多くいる。これが実現できれば、福翔高校としてこの上ない魅力ともなりうるが、実現するためにはどうすべきと考えるか。併せて、部活動の更なる活性化にどう取り組むべきかご意見を伺いたい。

例：部活動指導者の確保
環境整備

3. どのような教育内容や特色があれば、中学校や保護者として福翔高校を勧めやすいか（進路指導が行いやすいか）。また、どのような広報活動をしたら市民にも広く福翔高校をアピールできるか。その他の活性化策も含めてご意見を伺いたい。

例：生徒指導、進路指導面
他校との違いの明確化
キャリア教育やマナー指導
大学との連携の方策
キャッチコピー
その他の活性化策

博多工業高校の活性化の論点について

博多工業高校においては、平成15年より類・コース制を導入し、一定の成果を出しているが、類・コース制の課題解決や中学生、保護者や社会のニーズに即した学科改編等が求められている。

このような中、市民から必要とされる魅力ある博多工業高校を目指すには、どのような方策をとるべきか。

○改革の方向性

- ①工業分野における専門的知識・技能を持つ将来のスペシャリストの育成を図るとともに、進学も視野に入れた教育を推進する。
- ②類・コース制の枠組み、教育課程の見直しや学科編成等、学校と協議を行いながら検討する。
- ③就業体験（インターンシップ）や社会人講師の活用についても、産業界の協力を得て一層の推進を図る。
- ④部活動等の特別活動の充実を図る。

○検討の視点

- 1 明確な目標意識や将来の進路目標が不明確なまま入学する生徒も少なくない中、中学生や保護者、中学校にとってどのような制度が望ましいか、また、中学生、保護者や社会のニーズに即した学科改編等はどうあるべきか、ご意見を伺いたい。

例：「類・コース制」の改善による取組

- ・各学科定数の柔軟な対応
- ・2学期制の導入（専門性の強化）
- ・ガイダンス機能の充実
- ・類の枠組みの見直し
- ・コースや教育内容の見直し

「類・コース制」の廃止（学科制）

- ・学科による専門教科指導の強化

地域の実態（地場産業等）に応じた学科構成とする

特色ある学科を設置する

現行の設置学科の特色をより鮮明に打ち出す

- 2 魅力ある学校づくりを推進するため、部活動の活性化にどのように取り組むか。

例：部活動指導者の確保

環境整備

3. その他、魅力ある工業高校を目指すため、どのような特色や取組が必要か、ご意見を伺いたい。

例：資格取得の推進（ジュニアマイスター顕彰制度の活用）

地域や企業、大学等との連携

生徒作品の販売等、地域貢献活動とPR活動

ものづくり教室等の実施と充実